

六、なぜ再処理工場のうら試験を止めさせた

- 理由、①ウラン試験をして工場を結廻路で走らしめようと
核炉への適用や莫大となる。
- ②これまでの日本原燃の不正工事、たばこ工場など
など、日本原燃にウラン試験アラカルト試験
から再処理とする結果はもとよりいつのまにか
- ③ウラン試験をしても事故を起してしまったのが
めに決している。事故を起す前に止めることが可能
- ④海外から運び込まれるウランが多量になると
のに、安全にどうぞ必要はない。一日も早く原発を
止めるべき。
- ⑤国際規約に反して日本がウランをどう
するかは許されない。世界中の環境に影響
- ⑥國の安全審査は公用でされないを主張。(クリントン)
- ⑦技術機の遠隔監視の実現
- ⑧技術機の存在をどうとおこなわし
- ⑨直接命令より再処理の方がコストがかかる。
赤字の日本政府の意義はない再処理
をせること。自民党の政策が、ゆきあたりに付た
りであることを証明あるだけ。国民の命を守るために
- ⑩水俣病で國、県の責任がとわれたが、市民に
安全せんし、命を保険あるのは当然の義務。
- ⑪人々はウランの教訓を学ぶべき(子供の
日血病)

氏名 放野 純子